

中学2年生 女子

犯罪など、普段はあまり身近にない事だけでもし自分に起こったりや、身近に起こったらとか考えるとイマイチ想像できません。だけど、日本のどこかではこんなことが起こっていることを今よりももっと知ろうと思いました。

つらい話だけど、話を聞いていると、自分が生きている事に感謝したいと思います。話を聞いている時の手を握ってみて下さいの時、ふだん何気ない温かさだ、と思っている手のぬくもりもすごく大切な事がわかりました。

先日合唱コンクールがありました。その時歌った歌詞の中に「あなたの手のぬくもり」という歌詞がありました。どうして歌にこの歌詞が入っているのかわかりました。もし友達が困っていたりした時、手を握ってぬくもりを分けて上げたいと思いました。

命の大切さを1日1日感じて生きたいです。

中学2年生 男子

しっかりと授業を受けることができて、命の大切さや命は、とても身近にあることが分かりました。

一つの判断、一つの自分の判断で時によっては命、場合によっては相手の命、ひどかったら死にいたることもあることが分かりました。

人生で判断することは、いっぱいあると思います。命に関わらない時もあると思います。けど、その判断で自分の人生、相手の人生が一瞬にして変わることもありえるので、しっかり命は大切だと、一瞬で失うこともあると、今日分かったので、命は大切だと自分に言い聞かせたいと思います。

一分、一秒を大切に一生懸命に生きてます。今日学んだことを絶対に忘れないで生きてます。

今日は、ありがとうございました。

中学3年生 男子

今日の授業を受けて、僕は逃げ出したい時、よくないことが起きたときに死にたいと簡単に命を落としたいと何度も思ったことがあります。しかし身近な人や両親のことを考えるとこんなことをして命をおとすことが許されないと思いました。

今日の話に出てきたまさるさんと僕にも共通点があり、小さいころから活発でいたずら好きな所が似ていると感じました。また、まさるさんをなくされた一井さんの話を聞いている内に親は自分の子が大切だなと感じ、自分が親になったときには自分の子に愛情をかけて育てていきたいです。そしてWILLについてもっと知りたくなりました。僕ができるような事があればできる限りやってみたいです。

小学6年生 男子

今日、市原さんのお話を聞いて、実際に犯罪にあった人じゃないと分からない苦しみ、こうかい、悲しみがよく分かりました。それでも、僕の思っていることは、実際にあわれた方、子どもや親を亡くされた方たちの1万分の1も分かっていないと思います。

でも、少しでもいいから今日分かった部分を今後に生かしていけたらいいと思いました。今、こうやって感想を書いていること、息していること、手を動かしていることは、生きているしょうこです。でも亡くなってしまった人たちはそんなことではない、と知ってとても心が痛みました。

僕はこれからの人生をどうやって生きていくのかをしっかりと自分と向き合って考えたいです。

小学6年生 男子

今日の授業から、ぼくたち犯罪被害にあったことがない人が、実際に犯罪被害にあった人の家族の方に聞いてみて、「命」や「生きる」ことについて考えさせられました。

今日聞いてみて、大切だと思ったことがいくつかありました。

生きていく中で「つらい」「苦しい」「死にたい」と思うことがある。その時は、だれかに相談することが大切と思いました。

なにげなく言った言葉も人を傷つけることになる。被害者になることはさけられないが、加害者になることはさけられるという事は、加害者にならないければ、被害者も減るから、加害者にはならないでほしい。

これからは、ぼくも家族や友達に悩んでいる事を相談しにくいけど、がんばって相談して、一人で悩むのはやめようと思いました。

小学6年生 女子

もし、周りでいじめが起こったり、自分が被害者の家族だったら、そしてもし自分が犯罪被害者だったら…想像できるけどしたくない、でも実際そうだったらどうしてるだろう、想像以上のまた上と、体がくずれ落ちて何もできない体も心もぼろぼろになってしまうだろうと思いました。もうこれ以上ないぐらいざんこくで自分を責めて責めて責めまわると思います。いつもけんかをしてるような人でもです。今、私たち一人一人が幸せに、家族、友達、食べ物もあって一緒に遊んで…こんな当たり前のように毎日一緒に笑って話せるのがどんだけ幸せなことかもよく分かりました。そして、ただいやだから、あいつきらいだからというしょうもない理由でいやがらせをしたり、いじめたり、傷つくようなことをするというのは、とても自分勝手に最低な人間になることだと知りました。自分の行動や言葉に責任をもって、先のことを考えて、相手の気持ちを考えて、自分の意思をちゃんと持って、元気に支え合いながら生きていきたいです。

小学6年生 女子

けいじさんが産まれる前に流産、死産があったことにまずおどろきました。やっぱり産まれる前に2人も亡くなってしまったからけいじさんが産まれてきた時はとてもうれしかっただろうなと思いました。けれどその分亡くなってしまった時の悲しさも大きかったと思います。私も2,3年ほど前に飼っていた鳥が亡くなってしまってとても悲しかったことを思い出しました。その時、私はずっと泣いていたのに妹はぜんぜん泣いていなくてひどいと思いました。でも「悲しみの大きさは人それぞれだけどみんな悲しいのは同じなんだ」ということがわかりました。私はけいじさんのお話を聞いてとくに心に残ったことがあります。一つ目は被害者になるのはさけられないけれど、加害者になるのはさけられるということです。そのことを聞いて自分をちゃんとコントロールして加害者になることをふせようということと、妹や友達なども気づかってあげて加害者になってしまわないようにしたいと思いました。

中学2年生 女子

自分も何度かこの人生を生きることについて考えることがありましたが、今回はいつもよりしっかりと考えました。自分は友人の言いなりになって、人の道を外れた生き方をしようかと思ったり、命を自ら捨てようとしたこともありました。

でもそれをしなかったのはちゃんと命の大切さを分かっている、人を傷つけることの重大さや自分の命の重みがどんなものか知っていたからだと思います。

今回、命の大切さを再認識できて、また強く生きていける気がしました。

これからも命の大切さを、心に留めておこうと思います。